



■ 南科実験高等学校初等部吹奏楽団が全国学生音楽コンクール南区決勝大会の小中学生吹奏楽合奏B組で特優一席を獲得(2013.03.15)

多様な才能を持った人材を育成 見るべき成果

南科実験高等学校は「国際」「科技」「創意」「品格」「人文」の五大理念を掲げ、「五育（徳智体群美）」のバランスの取れた教育を通じて多様な才能を備えた人材の育成に尽力しています。

初等部吹奏楽団は、3月に行われた全国学生音楽コンクール南部大会において小中学生吹奏楽合奏B組の特優一席に輝き、続く11月の台南市学生音楽コンクールでは小中学生吹奏楽合奏B組の代表出場権を獲得しました。

2013学年度台南市連合運動会に出場した初等部テニスチームは小学生団体の部で優勝し、二連覇を達成しました。また、中等部テニスチームも2013学年度台南市中等学校運動会の中学生男子団体の部、中学生女子団体の部で準優勝に輝きました。

高等部の学生は2013学年度百世杯孝道創意表現コンクールに出場し、銅鶴奨を受賞しました。

バイリンガル部12年生の鄭筱安は、2013年ナショナル・メリット奨学金を獲得しました。

中等部は2013学年度台南市語文コンクールに出場し、国語スピーチと国語朗読で第一席、字音字形で第二席、書道で優勝という好成績を収めました。

「前瞻與挑戰」を創刊

2013年は南科実験高等学校創立8周年に当たります。子供たちが一步一步成長してきた記憶を留めるため、全8冊からなる「前瞻與挑戰」が図書館によって編集、出版されることになりました。隔月刊で、毎号1000部ずつ発行される予定です。10月5日に創刊号が刊行され、南科実験高等学校の歴史に新たな一頁を加えました。

抜群の進学実績

南科実験高等学校高等部第3期生は、2013学年度の国立大学、医科大学進学率が80%という素晴らしい実績を上げました。

第3期卒業生87名のうち、国立大学合格者は71名。台湾大学、清華大学、交通大学、成功大学、政治大学といったトップ校への進学者は卒業生全体の16.1%に上りました。

数理実験コース第3期生は卒業生23名のうち21名が国立大学、2名が高雄医学大学の薬学部と看護学部合格するなど抜群の成績を収めました。



■ 南科実験高等学校が刊行した「前瞻與挑戰」創刊号 (2013.10.05)

卒業年度	総合点が上位12%以内	国立大に合格したパーセンテージ	国立大トップ5校 (台湾大学、清華大学、交通大学、成功大学、政治大学) に合格
2011	17.6	75	14.1
2012	16.9	75	14.6
2013	24.1	80	16.1

■ 南科実験高等学校は毎年素晴らしい進学実績を残している

南科実験高等学校が評鑑で一等校務評鑑で特優を獲得

南科実験高等学校は7月5日、教育部による2012学年度全国公私立高等学校校務評鑑で一等（特優）を獲得。評価の対象となった7領域のうち校長の指導力、行政管理、学務補導、環境設備、相互交流、業績成果の6つの領域で最高ランクの一等（特優）を収めるといふ、台南地区トップの好成績です。南科実験高等学校が「12年一貫緑色科技明日典範学校計画」や義守大学と共同で取り組んでいる「高瞻計画」に基づいて科学実験高等学校の特色を打ち出している点が評鑑委員の高い評価を得ました。



■ 南科実験高等学校の校務評鑑の様子(2013.07.05)



■ 高等学校キャンパスの生態池に設置された雨水回収システムの模式図



■ 太陽光発電デモシステム



■ グリーン建築の解説をする学生ボランティア



■ 学生が植物解説板に記されたQRコードを携帯電話で読み取る



■ 第53回全国科学展で生物科一位を獲得した南科実験高等学校の馬悦華、黄怡寧（左から一人目、二人目）、黄聖龍（右から一人目）が他の入賞者と並んで総統と記念撮影(2013.08.01)

科学展覧会で快挙再び

南科実験高等学校は毎年、科学展覧会で素晴らしい成績を収めています。2013学年度はまたも高等部の許毓芳が2013国際科展において数学科一等奨及び青少年科学奨を受賞。また、全国科展数学科で見事一位を獲得した前年度に続き、2013学年度も高等部の黄怡寧、馬悦華、黄聖龍が第53回全国科展に出展して生物科一位の榮譽に輝きました。

WASC国際認証「候補」資格を取得

バイリンガル部は2012年、国際的な教育認定機関であるWASC（Western Association of Schools and Colleges）に初めて国際認証申請を提出しました。WASC認定校となってそのカリキュラムが国際的に認められると海外大学への進学がスムーズになるだけでなく、国際基準の審査を受けることは教育の質の向上や国際化を目指す上での一つのステップでもあります。南科実験高等学校は2013年4月に3年間の「候補校」に認定されました。今後2年以内に「認定校」に昇格することが期待されています。



■ 南科実験高等学校の林坤燦校長(右)が米国ナショナル・メリット奨学金をバイリンガル部の鄭筱安(左)に授与(2013.04.16)

